

視 察 日	平成21年7月7日(火)～9日(木)
視 察 内 容	鹿児島県鹿屋市、熊本県熊本市、福岡県大牟田市
視 察 者	小野政明

報告者 小野政明

## 鹿児島県鹿屋市「バイオマスタウン構想」について

### 1. 鹿屋市の概要

大隅半島の中央部に位置する年間の平均気温17℃の温暖な気候と豊かな自然風土に恵まれた人口10.6万人、面積448.33平方キロの全国トップレベルの農畜産物の産地である。

### 2. 「バイオマスタウン構想」の概要

国の「バイオマス・ニッポン総合戦略（平成14年12月閣議決定）」に基づき、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、農山漁村の活性化、戦略的産業の育成の観点から、地域のバイオマスの利活用事業に取り組むために市や民間事業者が行うバイオマスの利活用施設整備の支援のために設けられた「地域バイオマス利活用交付金」の交付条件として自治体バイオマスタウン構想策定が義務付けられている（国は、事業費の3分の1～2分の1の財政的な支援あり）ため、鹿屋市の「総合計画（平成20年度～29年度）」において地域特有のバイオマスを活用し循環型社会の構築のため実施した。



### 3. 現況と問題点(t/年) (t/年)

平成21年3月に鹿屋市バイオマスタウン構想が農林水産省より公表された。

地域のバイオマス賦損量及び利用状況は、廃棄物系バイオマスでは

家畜排せつ物 1,247,467(t/年)、利用率 99.0% メタン発酵

食品残渣 40,115(t/年) 100.0%

一般廃棄物 7,505(t/年) 82.7%

木くず 6,042(t/年) 95.0%

草木剪定枝 4,080(t/年) 89.8%

し尿・汚泥 85,926(t/年) 62.5%

合計 1,391,135(t/年) 97.8%

未利用バイオマスは、農業副産物、木質系、果樹剪定枝、ゴルフ場刈り草となっている今回の視察先は、農業生産法人いずみ商事の焼酎粕処理を見学した。

地域に賦存する未活用資源を酒造会社よりいずみ商事に搬入しバイオマス利活用設備で飼料化するそれを飼料会社・畜産農家に販売している。畜産農家は飼料費削減と土地の栄養確保に役立てている。

### 4. 感想・提言

本市においても「バイオマスタウン構想」を策定し、今後の廃棄物系バイオマスの更なる有効活用の未利用バイオマス資源である農業副産物等の高付加価値利用の推進のため努力するべきであると考えます。

# 政務調査 報告書

視察日	平成21年7月8日（水）
視察内容	崇城大学市民ホール（市民会館）について
視察者	小野政明

熊 本 県 熊 本 市	<p><b>熊本市の概要</b>；熊本市は、人口677,375人、面積286.81km<sup>2</sup>の政令指定都市である。</p> <p>加藤清正築城の熊本城の城下町として栄え、豊かな緑や清冽な地下水、熊本城、水前寺公園、明時の文豪の足跡など、自然・歴史・文化の薫りの中に近代的都市機能が集積。九州中央に位置する九州第3の拠点都市である。</p> <p><b>&lt;熊本市民会館ネーミングライツについて&gt;</b></p> <p>1 ネーミングライツ概要について</p>	
	ネーミングライツパー	学校法人 君が淵学園
	愛称（呼称）	崇城大学市民ホール
	ネーミングライツ料（年額）	15,000,000円（消費税別） ※初年度は9,400,000円（消費税別）
	パートナー契約期間	約4年間 （平成20年7月1日～平成24年3月31日）
	ネーミングライツに付随する特典等	(日)施設サイン掲出権（呼称表示による施設看板）
		(月)大ホール等における無償使用权（年間3日間）
		(火)熊本市自主文化事業の冠協賛権（年間2事業）
		(水)その他の特典は協議の上決定
	2 導入目的について	<p>民間との協働により、本市の文化振興を図り、市民に対して、より高い芸術文化鑑賞や文化創造活動の機会の、より一層の提供を図ることを目的としてネーミングライツを導入したものである。</p>
3 導入の経緯について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成19年3月～4月 第一次募集</li> <li>・ 平成19年5月～6月 課題の検証</li> <li>・ 平成20年2月～3月 第二次募集</li> <li>・ 平成20年4月 ネーミングライツパートナー選定委員会開催</li> <li>・ 平成20年4月 基本合意</li> <li>・ 平成20年7月 愛称の使用開始 本契約</li> </ul>	



<p><b>[感想・岡崎市への反映]</b></p> <p>愛称の命名権（ネーミングライツ）は、市民の皆様のこれまで以上に質の高い芸術文化作品の鑑賞機会拡大と、文化創造活動に活用することが目的であり、本市近隣では名古屋市において、名古屋市民会館を中京大学文化市民会館（平成19年4月1日より5年間、年額50,000,000円）としてネーミングライツを導入している。</p> <p>本市に於かれましては、新文化会館が新築されました時には、募集をするかどうかを検討する余地があるかと思われます。今後の動向を見定めたい。</p>	
---	--

# 政務調査研究視察 報告書

平成 21 年 7 月 28 日提出

視 察 日	平成 21 年 7 月 7 日 (火) ～7 月 9 日 (木)	
視 察 先	鹿児島県鹿屋市、熊本県熊本市、福岡県大牟田市	
視 察 内 容	鹿屋市バイオマスタウン構想について、熊本市市民会館について、大牟田市使用済み小型家電の回収について	
視 察 者	小野政明	
福 岡 県 大 牟 田 市	<p><b>&lt; 使用済み小型家電の回収について &gt;</b></p> <p>大牟田市は福岡県の南端、有明海に臨む。石炭とのかかわりは深く、明治・大正時代、石炭の採掘とともに石炭を原料とする化学コンビナートを形成し、日本の近代化を牽引した。現在は化学工業が主力産業となっている。</p> <p>今回の視察は石炭産業から石油へのエネルギー革命を契機とした産業構造の変化により基幹産業の創出の一環として大牟田エコタウン事業を発足した大牟田エコタウンを視察した。</p> <p>団地の概要は工業専用地域(工業適地) 建築基準建ぺい率 60% 容積率 200%、用水は工業用水道及び上水道完備、排水下水道完備、電力は九州電力より供給区画は全 28 区画 (32.9ha)、入居対象社には補助金、税制、融資の優遇制度を設けているそのエコタウンの使用済み小型家電の回収業者柴田産業株式会社を視察した。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>①、手選別・手分解による電子機器(パソコン、携帯電話、プリンターなど)及び電気機器のリユース。有価金属が含まれる部材や、有価となるプラスチックの再資源化。</p> <p>②、高品質リサイクルシステム(破碎・選別など)による処理困難物(光ファイバー・支持線付鋼線・基板くずなど)・有価金属部材・有価プラスチック類の再資源化</p> <p>③、大型ベアラプレス機での古紙や廃プラスチック、アルミ缶等の加工リサイクルを事業主体としている。</p> <p>電子機器・光ファイバー等の①、②のリサイクル率は 95% 以上の実績を誇っている。</p> <p>この事業の問題点は小型家電の回収量が安定して確保しないと事業として成り立たないことが問題であり、柴田産業では九州全県より回収して安定した回収量を確保している</p>	
	<p><b>[感想・岡崎市への反映]</b></p> <p>この視察において特に印象を受けたことは、本市がこの事業を実行することで無くエコタウンを工業適地に誘致し諸々の優遇制度を活用できる体制を用意して民間の企業力を引き出させることが大事であると考えます。</p> <p>近い将来に必要な事業と考えます。</p> <p>本市も企業誘致の一つの目玉としてゆく必要があると考えます。</p>	

